

NO.209

令和5年6月1日発行

3月	6月
9月	12月
定例会は年4回	

市議会だより

く る め

GIKAI TIMES



特集

「人・まちを守り、未来へつなぐ」

令和5年度予算を審査



予算委員会の大熊委員長、太田副委員長に直撃!

「人・まちを守り、未来へつなぐ」 令和5年度予算を審査

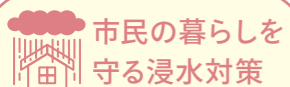


久留米市 令和5年度予算

3月の定例会では、新年度の予算について審査を行いました。

今年度の予算のテーマは「人・まちを守り、未来へつなぐ」。予算委員会では、予算が適切に配分されているか、また本当に未来へつなぐ予算になっているかに重点を置いて審査しました。

「未来へつなぐ」予算に正副委員長が切り込む



市民の暮らしを守る浸水対策

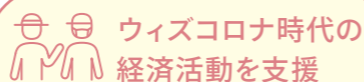
大熊：頻発する災害に対して、被害を最小限に抑えたいという気持ちが表れていました。特に流域での治水を推進する事業が充実しています。市議会議員の経験が長い市長なので、現実的で、スピード感を持って対応している印象です。



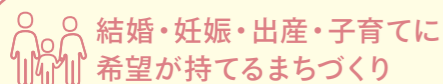
大熊委員長

大熊：経済対策の予算が組み込まれているのが良いですね。コロナで大きな打撃を受けた飲食店、観光、イベント業の人たちへの支援が充実しています。

太田：コロナ禍も3年が経ち、猶予されていた融資の返済も始まります。大変になる事業者の方もいるので、寄り添った細やかな対策を施してもらいたいと思います。



ウィズコロナ時代の経済活動を支援



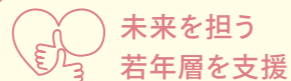
結婚・妊娠・出産・子育てに希望が持てるまちづくり

大熊：少子化対策や子育て支援に加え、今回は結婚支援についても手厚くなりました。経済面で不安があったりして、結婚したくてもできない人もいますので、大事な対策です。

太田：少子化は全国的にも緊急の課題。出産を希望する人への環境整備と同時に、社会全体で子育て家庭を見守り、支えていくことが大切です。共働きが増え、私たちの時代より子育ては大変になっています。見守ってくれる存在が地域にあることが、とても大事だと思います。



太田副委員長



未来を担う若年層を支援

太田：子育て支援の施策は、以前より充実しました。市には、その効果をきちんとチェックしてほしいですね。

大熊：市の予算は限られているので、全体的なコーディネートが大事。国や県とのパイプを構築し、若者支援や教育関連の補助金を活用すれば、もっと充実した施策が打てるのではないのでしょうか。

<未来の久留米市のために、市への意見> 水害対策はハード面が多いので、市民も目に見えて対策が進んでいるという実感が湧くでしょう。一方で、それまでやっていた他の分野の政策が不十分にならないか、危惧しています。特に「福祉」「教育」は、未来につなげるために行政が一番やらないといけない課題です。予算委員会では、長期的な視点を持ってほしいなど、各議員からの意見を伝えました。予算配分については、今後もしっかり考えてほしいと思います。

委員の質疑をピックアップ

3月8日から16日までの7日間にわたり審査した令和5年度予算。「未来へつなぐ」視点で、200を超える質疑の中から代表的なものを選び、紹介します。

子どもを温かく見守る寛容な社会に

Q 「ボール遊び禁止」の看板がある公園について、以前に質問した時には、「近隣住民と話し合い、看板を外すこともできる」という回答だったが、その後どのように取り組んだのか。

A 地域での意見交換会の実施に向けて調整を行っている。誰もが公園を利用しやすくなるよう、地域の関係者や公園利用者との話し合いの場を設けていきたい。



【委員の意見】 看板が設置された20～30年前と比べると、子どもがいる世帯の数は半分になった。地域住民間のつながりも希薄化し、子育ての環境も変化している。市には、地域住民が子どもたちを温かく見守る寛容な社会となるよう、呼び掛けてほしい。公園でのボール遊び禁止は、子育てについて考える一つのきっかけであり、地域で話し合いの場を持つことは非常に重要。話し合いのプロセスの中で子育てへの理解が深まることで、ひいては、全ての人が共生できる地域づくりにつながるのではないかと。

農地を守り、農業の担い手を確保するための方策は

Q 高齢化が進み、人口減少社会が到来する中、農業の担い手不足はなかなか解消されず、現在の農地を維持していくのは難しい状況にある。これからの農業のあり方について、どのように考えているか。

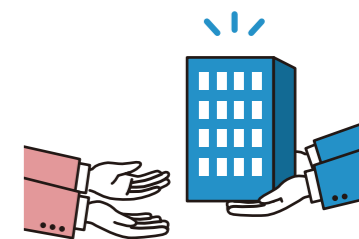
A 国民の食糧を支えていくという観点から、米や野菜を生産するための農地を確保していくことは重要な課題である。併せて、農業の担い手を育成し、確保していくことも必要。時代の潮流を見据え、新規就農者への支援や優良農地の保全、新技術の導入などによる農業所得の確保に向けて、広い視点を持ち、農業政策に取り組んでいきたい。



事業承継を起業の選択肢の一つに

Q 高い技術力を持つ中小企業や、地域に愛されてきた飲食店などが廃業していくのは、非常にもったいない。起業を考えている若者と、高齢や後継者不足を理由に廃業を考えている経営者に「事業承継」について知ってもらい、起業する際の選択肢の一つとしてほしいと考えるが、市としてどのように捉えているのか。

A 中小企業が、これまで培った知識やノウハウ、技術、人材などを引き継ぎ、つないでいくことは、大変重要なことである。福岡県事業承継・引継ぎセンターでは、後継者を探している経営者と起業家のマッチングに取り組んでいる。市としても、関連機関や団体と連携しながら、円滑な事業承継に向けて周知、啓発などに取り組んでいく。



浸水対策やウィズコロナ、 少子化・人口減少への対応に重点

令和5年3月定例会を2月20日から3月27日まで開催し、令和5年度の予算を中心に審議しました。
令和5年度一般会計予算の予算規模は、前年度比1.0%減の1,448億7,000万円。また、令和4年度3月補正予算についても審議しました。

主な審議事項

- 令和5年度一般会計予算
浸水被害軽減対策など流域治水の推進、イベント振興、妊娠・出産・子育て支援、行政サービス等のデジタル化など
- 令和4年度一般会計補正予算(第7号)
- 令和5年度一般会計補正予算(第1号)



議案の議決結果はP6へ →

3月定例会の経過 会期 2月20日～3月27日の36日間

第1日

▼ 2月20日

- 会期の決定(36日間)
- 久留米市外三市町高等学校組合議会議員の選挙
- 議会制度調査特別委員長から調査結果の報告
- 市長から令和5年度一般会計予算など37議案の提案説明
- 急を要する案件として、競輪事業特別会計補正予算(第3号)を経済常任委員会に付託し議案を審査
- 経済常任委員会の議案審査結果報告の後、議案を可決

第2日～第6日

▼ 3月1日～7日

- 一般質問(P7～9へ)
- 議案の質疑
- 令和5年度一般会計予算など17議案を予算審査特別委員会へ付託
- 各常任委員会へ予算関連議案以外の議案を付託

予算審査特別委員会

▼ 3月8日～17日

- 予算審査特別委員会で議案を審査(P2,3へ)

常任委員会

▼ 3月20日・22日

- 総務・教育民生・経済・建設の4常任委員会で議案を審査(P5へ)

第7日

▼ 3月27日

- 令和5年度一般会計予算等の審査結果を予算審査特別委員長から報告の後、全ての議案を可決
- 令和5年度一般会計補正予算(第1号)など4議案が追加提出され、市長から提案説明
- 追加議案を総務・教育民生の2常任委員会で審査
- 追加議案4件を含む各常任委員会の議案審査結果報告の後、初日に議決した議案を除く、全ての議案を可決・承認
- 請願の審査結果の報告の後、不採択
- 人事議案3件が追加提出され、市長から提案説明の後、全ての議案に同意
- 議会運営委員会から議案1件、議員から議案2件が提出され、提案説明の後、可決

● 請願の審査結果

件名	審査状況
文化センター共同ホール存続を求めることについて	不採択

同意した人事案件

市長が任命、選任または推薦する人事には、議会の同意を得なければならないものがあります。

- 教育委員会教育長 井上 謙介
- 人権擁護委員 桑野 洋志、諸富 博司、矢野 井史
- 固定資産評価審査委員会委員 久保田 茂、新谷 憲悟、権藤 祐一郎

一部事務組合議会議員の選挙

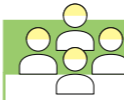
久留米市と近隣自治体が共同して特定の事務を行うため設置された一部事務組合の議会の議員を選挙で選ぶものです。

- 久留米市外三市町高等学校組合議会議員 山下 尚

※ 敬称は全て省略しています。

pick UP!

議案審査の概要



総務常任委員会

可決

「個人情報の保護に関する法律」の改正に伴う「久留米市個人情報保護条例」の全部改正(第23号議案)

デジタル化の進展に伴い、個人情報の保護とデータの流通を両立させるために全国統一的な運用が必要となり法が改正されました。それに合わせて条例の全部を改正するものです。

審査に関連して、こんな質問が出ました

- Q 個人情報保護法では、開示請求者から手数料を徴収してよいことになっているが、本市は徴収しないとのこと。「徴収しない」とした判断基準と理由は、
- A 徴収の有無は、行政サービスごとにその内容に差があるため明確な基準はなく、個々の事案に応じて判断している。現行制度でも手数料を徴収していないことや、県内の近隣自治体においても同様の取り扱いであることなどが理由である。



経済常任委員会

可決

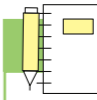
新型コロナウイルス感染症対策利子補給金等基金への積み立て(第2号議案)

令和4年度に融資を実行した「コロナ特別枠」「経営回復支援特別枠」に係る令和5年度以降の利子補給などの負担分として、1億1,074万円を基金に積み立てるものです。

審査に関連して、こんな質問が出ました

- Q この融資制度の利用件数と融資額の実績は。また、返済への対応は、最後まで細やかな支援をお願いしたいが、いかがか。
- A 令和5年2月末時点で利用件数は2,952件、融資総額は約89億3,000万円である。返済が難しい事業者には、資金繰り相談や専門家派遣などの支援を行っている。今後も、商工団体などと意見交換をしながら丁寧な支援に努めていきたい。

※1 安全装置・・・乗員がバスから降車したことの確認を促すブザー機能やセンサーで、自動的に置き去りを発見する機能などがある装置のこと



教育民生常任委員会

可決

子どもの送迎用バスに置き去り防止装置を装備するための補助(第2号議案)

国の方針によって、安全装置※1の装備が義務化されます。保育所や特別支援学校などの送迎用バスに装置を導入する費用として、4,738万円を増額補正するものです。



送迎用バス

審査に関連して、こんな質問が出ました

- Q 子どもの置き去りを防ぐには、今回装備する安全装置を正しく使用しなければならない。そのための管理はどのように行うのか。
- A 事前に研修会を開き、安全装置の正しい使用方法を周知していく。装備後も、運転士だけでなく添乗員や施設長による確認・記録を行い、定期的に市職員が記録を点検するなど、組織的に管理する仕組みを作っていきたい。



建設常任委員会

可決

市営住宅の入居資格や公募に関する規定の見直し(第37号議案)

若年単身の住宅困窮者への対応や空き住戸対策として、一部の住宅に60歳未満の単身者の入居を可能とするなど、条例の一部を改正しようとするものです。

審査に関連して、こんな質問が出ました

- Q 60歳未満の単身者の入居を可能とする基準は、エレベーターのない住宅で、4階以上の階別入居率70%未満とのことであるが、基準を満たす住宅はどのくらいあるのか。
- A 十数団地ほどが該当するが、修繕が必要になる。限られた修繕費の中で、バランスをとりながら、基準を満たす住宅を年度3回の定期募集に含めて募集を行う。募集する戸数は、1回あたりの募集で3、4戸程度を予定している。

議案の議決結果

✓ 全員賛成で可決・承認・同意した議案

令和5年 2月20日議決分

第3号議案 令和4年度久留米市競輪事業特別会計補正予算(第3号)

令和5年 3月27日議決分

- 第1号議案 街路樹の管理瑕疵に起因する排水管破損事故による損害賠償の専決処分について
- 第2号議案 令和4年度久留米市一般会計補正予算(第7号)
- 第4号議案 令和4年度久留米市下水道事業会計補正予算(第3号)
- 第7号議案 令和5年度久留米市競輪事業特別会計予算
- 第8号議案 令和5年度久留米市卸売市場事業特別会計予算
- 第9号議案 令和5年度久留米市市営駐車場事業特別会計予算
- 第11号議案 令和5年度久留米市農業集落排水事業特別会計予算
- 第12号議案 令和5年度久留米市特定地域生活排水処理事業特別会計予算
- 第14号議案 令和5年度久留米市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算
- 第15号議案 令和5年度久留米市産業団地整備事業特別会計予算
- 第16号議案 令和5年度久留米市水道事業会計予算
- 第17号議案 令和5年度久留米市下水道事業会計予算
- 第18号議案 包括外部監査契約の締結について
- 第19号議案 交通事故による和解契約締結について
- 第20号議案 交通事故による和解契約締結について
- 第21号議案 訴えの提起について
- 第22号議案 久留米市都市公園の指定管理者の指定について
- 第26号議案 久留米市手数料条例及び久留米市印鑑条例の一部を改正する条例
- 第27号議案 久留米市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 第28号議案 久留米市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
- 第29号議案 久留米市子ども医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例
- 第31号議案 久留米市旅館業法施行条例の一部を改正する条例
- 第32号議案 久留米市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例
- 第33号議案 久留米市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例
- 第34号議案 久留米市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例
- 第35号議案 久留米市新型コロナウイルス感染症対策利子補給金等基金条例の一部を改正する条例
- 第36号議案 久留米市手数料条例の一部を改正する条例
- 第37号議案 久留米市営住宅条例の一部を改正する条例
- 第38号議案 令和5年度久留米市一般会計補正予算(第1号)
- 第40号議案 久留米市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例
- 第41号議案 久留米市幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件に関する条例
- 第42号議案 久留米市教育委員会教育長の任命について
- 第43号議案 人権擁護委員候補者の推薦について
- 第44号議案 久留米市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 発議第1号議案 久留米市議会の個人情報の保護に関する条例
- 発議第2号議案 久留米市議会会議規則の一部を改正する規則
- 発議第3号議案 地方自治法第180条第1項の規定による市長の専決処分事項の指定について



3月定例会での採決

✓ 賛否が分かれた議案

議案名	会派名	明政会	久留米たすき	公明党	緑水会	みらい久留米	日本共産党	議決結果
令和5年 3月27日議決分		(12)	(7)	(5)	(5)	(3)	(2)	
第5号議案 令和5年度久留米市一般会計予算		○	○	○	○	○	×	可決
第6号議案 令和5年度久留米市国民健康保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	×	可決
第10号議案 令和5年度久留米市介護保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	×	可決
第13号議案 令和5年度久留米市後期高齢者医療事業特別会計予算		○	○	○	○	○	×	可決
第23号議案 久留米市個人情報の保護に関する法律施行条例		○	○	○	○	○	×	可決
第24号議案 久留米市情報公開条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	×	可決
第25号議案 久留米市行政不服審査法施行条例		○	○	○	○	○	×	可決
第30号議案 久留米市敬老祝金条例を廃止する条例		○	○	○	○	○	×	可決
第39号議案 久留米市印鑑条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	×	可決
請願第2号 文化センター共同ホール存続を求めることについて		×	×	×	○	×	○	不採択

会派名の()内の数字は所属議員数です。ただし、久留米たすきは議長を除きます。議長は表決に加わりません。賛成は「○」、反対は「×」、退席は「退」と表記しています。

※明政会の一部の議案では表決に参加したのは11人。緑水会は1人欠席のため、表決に参加したのは4人。

※請願第2号では、緑水会は1人退席。

会派名: 明政会(明政会議員団)、久留米たすき(久留米たすき議員団)、公明党(公明党議員団)、緑水会(緑水会議員団)、みらい久留米(みらい久留米議員団)、日本共産党(日本共産党久留米市議員団)



議員個人の賛否の状況はホームページでご覧いただけます

ここが知りたい 一般質問 代表質問

【代表質問とは?】所属する会派を代表して行う質問です。久留米市議会では当初予算を審議する定例会で行っています。

※このページの脚注は、P9に掲載しています。



議会中継(録画)

行財政

Q 新年度予算編成の基本的な考え方と予算に込めた市長の思いは

A 令和5年度予算は、「人・まちを守り 未来へつなぐ」という思いを込めて、編成にあたった。その中では、「繰り返されてきた浸水災害の克服」「ウィズコロナに対応した地域社会・経済の活性化」「急激な少子化や人口減少への対応」「未来を支えるひとづくり」をまちづくりの最重要課題として設定し、重点化を図っている。

その他の質問…地域担当職員制度の導入、高良大社文書の重要文化財指定など

まちづくり・暮らし

Q 本市への移住や市内在住者向けの定住を促す取り組みは

A 本市に移住や定住をしてもらうため、都市の総合力を高めることが重要。その上で、移住促進では、伴走型の相談対応や最大30万円の移住補助を実施している。定住促進には、安全・安心な生活の実現をはじめ、住みやすさを向上させ、住む人の評価を高めることが大切。今後も市民がさらに「暮らしやすい」と実感できるよう取り組んでいきたい。

その他の質問…戦略的に誘客するためのイルミネーション事業、不登校児童生徒の実情と不登校対策など

健康・福祉

Q 市民の健康づくりを推進し、健康寿命^{*1}を延ばすための取り組みは

A 「第2期健康くめ21」^{*2}に基づき、さまざまな取り組みを進めている。しかし、コロナ禍で、運動量の低下や社会参加の機会が減少し、各種健(検)診の受診率も低下した。そこで令和5年度は、健康づくりのきっかけになる「くめ健康のびのびポイント事業」^{*3}の対象を国民健康保険の加入者から、18歳以上の全市民に拡大しようと考えている。

その他の質問…国土強靱化地域計画の充実、子ども・子育て支援体制の強化など

行財政

Q 統廃合した後の学校施設の整備や運用計画を地域と連携して進めているのか

A 小学校の統合は、地域にさまざまな影響を及ぼす。学校は地域のシンボルでもあり、地域と十分に協議しながら取り組む必要がある。特に、跡地の利活用については、関係部局で構成する組織で検討しており、小学校統合を進めている担当部局として、十分に連携して取り組んでいく。

その他の質問…基地交付金の要望書の考え方、スポーツによる市政の活性化の展望など

まちづくり・暮らし

Q 分譲マンションの維持管理や入居者のつながりの希薄化対策への支援は

A マンションの適正管理に関する情報提供や相談対応を強化するとともに、マンション管理士などの専門家による助言を行う。また、令和5年度から防災やコミュニティなどの市の独自基準を加えた「マンション管理計画認定制度」の運用を予定しており、管理水準の向上を図るとともに、居住者間や地域とのつながりを促していきたい。

その他の質問…JR九州のダイヤ改正の影響と対策、児童相談所の設置など

明政会



石井 秀夫

久留米たすき



甲斐田 義弘

公明党



塚本 弘道

緑水会



佐藤 晶二

みらい久留米



藤林 詠子

ここが知りたい 一般質問 個人質問

【個人質問とは?】議員個人が議案以外の市政について行う質問のことをいいます。3月定例会で行った質問の一部を紹介します。

明政会 商工業・農業

Q コロナ後の耳納北麓地域への観光誘客をどう進めていくのか
A 耳納北麓を軸に近隣自治体との連携を強化し、相乗効果を高めていきたい。また、JR6社と福岡県や大分県が連携し、令和6年に開催する観光キャンペーンを活用し、全国からの誘客にも取り組みたい。

その他の質問…農業の6次産業化推進の取り組み

みらい久留米 商工業・農業

Q 農家民泊^{※4}の普及に向けて、今後どう取り組むのか
A 農家民泊の実施団体による、地域の歴史や伝統などを学ぶ講座や、活動報告会などの主体的な取り組みを支援していく。また、SNSなどさまざまな媒体や機会を活用して魅力を発信していきたい。

その他の質問…コミュニティタクシーの課題と事業内容の見直しなど



農家民泊で、田植え体験

明政会 商工業・農業

Q 水田を畑にする畑地化促進事業^{※5}の課題と対策は
A 水利施設を維持管理する土地改良区^{※6}は、水田農業者による賦課金で運営されている。水田の畑地化が進めば、土地改良区の運営に影響が出るのが懸念される。今後、国や県と連携して支援していきたい。

その他の質問…市営住宅入居者の住み替えなど

明政会 文化・観光

Q 筑後国府跡^{※7}の歴史公園整備に向けたこれまでの取り組みと今後の進め方は
A これまで出前講座などにより、地域住民の意識づくりに取り組んできた。令和元年度に適切な保存と活用のため、保存活用計画を策定した。今後、整備方針を定める基本計画の策定を進める。

その他の質問…農業における食料安全保障への取り組み



発掘調査が行われる筑後国府跡

緑水会 教育・子ども

Q 不登校対策をどう考えているか
A 生徒指導サポーター^{※8}や教育支援教室支援員^{※9}を拡充し、未然防止の体制と初期対応を充実する。全ての不登校の児童生徒に支援が届くよう、不登校児童生徒の視点に立った支援の調査研究を行う。

その他の質問…小・中学校の給食費無償化に対する市の考え方など

日本共産党 教育・子ども

Q 小中学校の学校給食費を無償化すべきではないか
A 給食費を無償化した場合、新たに年間約10億2千万円の財源が必要で、市単独での負担は困難。経済的に厳しい家庭には、就学援助制度等で支援を行う。必要な方に支援が届くよう周知にも努める。

その他の質問…統一協会問題への今後の対応など

公明党 教育・子ども

Q 悩みや不安が多い妊産婦や子育て家庭に寄り添い、必要な支援につなげる工夫は
A 産後ケア^{※10}の充実や家事・育児支援など、さまざまなサービスを実施している。妊産婦の不安を軽減するため、個々のニーズに応じ、妊婦同士の交流会やオンラインでの面談などにも取り組んでいる。

その他の質問…公共の男性用個室トイレへのサンタリーボックス設置

公明党 行財政

Q 環境負荷の低減のため、傘用ポリ袋の配布をやめ、傘の滴取り機を設置しては
A 滴取り機では傘の水気をとりきれず、床が濡れるため、施設利用者の転倒予防には、十分ではない。マイ傘袋の使用促進など、少しでもプラスチックごみの排出を減らせるよう検討していく。

その他の質問…女性に配慮したAEDの使用など

久留米たすき 行財政

Q 行財政改革として、市のオープンデータ^{※11}と民間のデータの連携が必要では
A 市が保有するデータを誰でも自由に活用できるよう、積極的に公開している。今後、官民のデータの相互連携により、行財政改革の取り組みにつながるよう検討を進めていきたい。

その他の質問…久留米産スニーカーの振興など

明政会 まちづくり・暮らし

Q 将来的に緑化を推進していくための取り組みは
A 計画では、令和7年度に市の面積に占める山や緑地などの緑の割合を70.3%以上とすることが目標。現在、新たな公園整備や公共施設の緑化などを行っている。民有地緑化の推進、ボランティアの育成にも取り組む。

その他の質問…街路樹の課題に対する取り組みと維持管理のあり方

久留米たすき 防災・安全

Q 老朽危険空き家は、今後増加が見込まれるが、どう対策するのか
A 令和5年度中に、市内全域の実態調査を実施したい。その結果を基に、所有者に直接、空き家の流通・利活用や解体などの提案を行い、相談や支援など切れ目のない対応を行いたい。

その他の質問…創業支援の取り組みなど



老朽化し倒壊の恐れがある空き家

※1 健康寿命
健康上の問題で日常の行動が制限されることがなく生活できる期間。

※2 第2期健康くるめ21
国の健康増進計画である「健康日本21(第2次)」を踏まえた市の計画。計画期間は平成25年度から令和5年度まで。単に平均寿命を延ばすだけではなく、健康寿命を延ばすことを目標に掲げている。生活習慣病の発症予防や重症化予防をはじめ、食生活などの生活習慣の改善、健康づくりを支える環境整備など、市民の健康増進を総合的に推進していく。

※3 くるめ健康のびのびポイント事業
「健康運動の推進」「健(検)診受診率の向上」「食生活の改善」など健康寿命延伸の取り組みを進めるための事業。ウォーキングや特定健康診査、各種がん検診の受診など、日々の健康づくり活動にポイントを付与。一定ポイント以上の獲得で、特典の抽選に応募できる。

※4 農家民泊
一般の農家などに宿泊し、農作業やその土地ならではの生活などを体験できる取り組み。

※5 畑地化促進事業
水田を畑にして畑作物の生産に取り組む農業者や地域を、国が支援する事業。国の令和4年度第2次補正予算で措置された。

※6 土地改良区
農業を営む人たちの組織で、水田農業者から賦課金を徴収し、農業用水路などの水利施設の維持や管理を行っている。

※7 筑後国府跡
「国府」は現代の県庁に相当。今から1300年ほど前から500年間、筑後国を統括した行政機関「筑後国府」の遺跡。合川町を中心に、東西約1.3km、南北約1.0kmの範囲に広がる。

※8 生徒指導サポーター
小学校において不登校や不登校の傾向など登校に支援が必要な児童等へ登校支援等を行う。

※9 教育支援教室支援員
中学校の校内に不登校や不登校の傾向にある生徒の居場所をつくり、相談対応や学習支援を行う。

※10 産後ケア
生後1歳未満の乳児を持つ産婦を対象とした心身の機能回復のためのアドバイスや、育児不安が強い方向けの育児についての指導など、母子の体調に合わせたケア。産科医療機関等で実施。宿泊型と日帰り型がある。

※11 オープンデータ
統計や防災情報など、行政機関が保有するさまざまな情報を、市民や企業などが利活用しやすいよう、目的を問わず、加工、編集、再配布などの二次利用を可能として広く公開するもの。

一般質問は、久留米市議会ホームページの「インターネット議会中継」でご覧いただけます。また、過去4年分の録画映像を見ることができ、議会の日程や議員の名前、キーワードで検索できます。



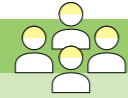
議会中継(録画)

常任委員会 活動レポート

常任委員会では、議案の審査だけでなく、市民生活に深く関わることを調査研究する所管事務調査や、市民などから市議会へ要望等を申し出るために提出された請願の審査なども行っています。

今回は、1・2月の常任委員会の活動状況をお知らせします。

■ 総務常任委員会



市民課業務の現状と今後

出生や死亡などの戸籍の届け出、引越しに伴う住所などの変更、マイナンバーカードの交付などの窓口業務について、市民課から説明を受けました。

Q マイナンバーカードの交付率向上のためには、情報漏えいの心配がなく安全であることや、カード取得のメリットを整理して市民に周知することが必要ではないか。

A 安全性については、市民に十分アピールしていく必要があると考えている。また、マイナンバーカードを使うメリットや利便性を丁寧に説明し、より多くの方にカードを取得していただけるよう努めていく。

その他のテーマ▶ デジタル化の現状と今後

■ 経常委員会



第2期観光・MICE^{※2}戦略の策定

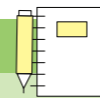
第1期戦略の実績や、今後の訪日外国人旅行者の回復見込みなどを踏まえた第2期戦略の策定について、観光・国際課から説明を受けました。

Q 本市に宿泊してもらうためには、周辺自治体と連携した広域的な取り組みが必要ではないか。

A 来訪者に広域で周遊してもらう取り組みを進めている。滞在時間を長くすることで、本市への宿泊を促したい。大規模なMICEの活用なども検討している。周辺自治体との連携をさらに強化し、さらなる取り組みにつなげていきたい。

その他のテーマ▶ 水道水の水質管理とおいしい水への取り組み

■ 教育民生常任委員会



「共同ホール」の存続を求める請願

廃止の方針が示された共同ホールの存続を求める請願を審査するため、1月に請願者・紹介議員・文化振興課から説明を受け、2月に委員間討議を行いました。

委員間の討議では、「維持管理費などの問題があり、行財政改革の観点から存続は難しいのではないか」「共同ホール利用者が別の場所で活動できるように取り計らうべき」「廃止の代替案がないまま廃止すべきではない」などさまざまな意見を交わしました。

その後、採決を行い、賛成少数でこの請願は不採択^{※1}となりました。

■ 建設常任委員会



道路・水路の管理と運用

安全・安心で快適に道路や水路を利用できるように、市道の認定や廃止、用地寄付など、公共用財産の適切な管理運営について、路政課から説明を受けました。

Q 建物の建築などの開発行為^{※3}では、雨水などを有効に河川へ排出する側溝が整備される。それに伴い、河川への排水量が増えることになる。下流地域の河川断面^{※4}は確保されているのか。

A 流量を計算し河川断面が不足しないことを確認した後、開発を許可している。開発に伴い雨水の流出が増えるため、側溝設置も指導している。今後も、開発行為については、道路・河川の管理者などと協議し、しっかり審査を行っていく。

その他のテーマ▶ 景観・屋外広告物

※1 採択・不採択・・・請願に、議会として賛同することを「採択」、賛同しないことを「不採択」という。

※2 MICE・・・企業等の会議、研修旅行、国際会議、展示会など、ビジネスイベントの総称。

※3 開発行為・・・建築物の建築又は特定工作物（コンクリートプラント・ゴルフコース・墓園など）の建設を目的に行う、土地の区画形質の変更のこと。

※4 河川断面・・・河川の横断面のうち流水の占める面積。断面積を大きくすれば、河川の流下能力も大きくなり、安全に水を流すことができる。

TOPICS

常任委員会の録画映像配信を決定

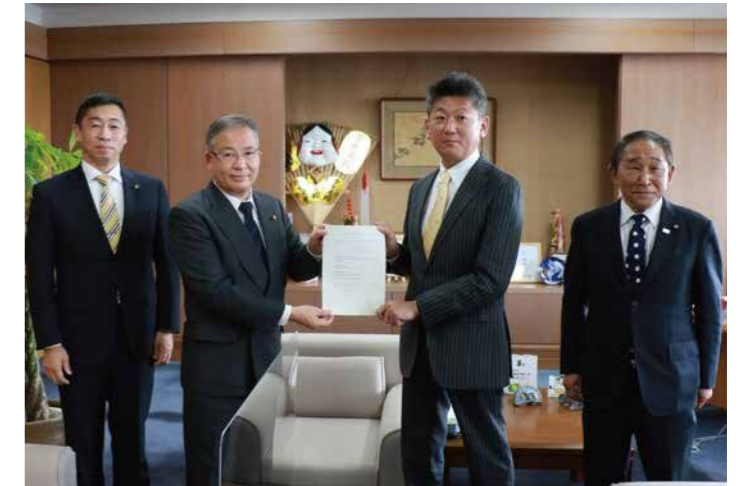
議会制度調査特別委員会では、議会改革の一環として「委員会の映像配信」をテーマに調査・研究を行い、議論を重ねてきました。

令和5年2月3日の委員会で、「総務・教育民生・経済・建設の4常任委員会の録画映像をYouTubeで配信する」との結論を出し、2月8日に石井議長へ調査結果を報告しました。

今後、配信に必要な機器などをそろえ、準備が整い次第、配信を始める予定です。

常任委員会での議論の様子を配信することで、先に導入した「一問一答方式による一般質問」と併せて、議会の活動を、より分かりやすく、見える形でお伝えすることができるようになります。

今後も、市民の皆様の負託に応えられるよう、開かれた議会運営に向けて、引き続き議会改革に努めていきます。



石井俊一議長（右から2人目）と市川廣一副議長（一番右）に調査結果報告を手渡す田中功一議会制度調査特別委員長（左から2人目）と轟照隆副委員長（一番左）

防災訓練を実施 本会議開催中の地震発生を想定

令和5年2月20日、本会議開催中に震度6強の地震が発生したとの想定で防災訓練を実施。久留米広域消防本部の協力の下、議員と事務局職員が参加しました。

避難訓練では、議員が安全に避難するだけでなく、傍聴者の誘導や避難経路の確保、負傷者対応などの方法も確認。

AED（自動体外式除細動器）を使った心肺蘇生法の講習では、消防本部の指導を受け、議員と事務局職員が実技を行い、いざという時に備えました。



地震発生時に、姿勢を低くし頭と体を守るシェイクアウト訓練



AEDを使用した心肺蘇生

請願書・陳情書の押印が不要に

市議会会議規則を改正し、請願書の提出に必要な請願者の押印が、署名^{※1}があれば不要になりました。これまでどおり記名押印^{※2}での提出もできます。

陳情書についても、同様の取り扱いとなります。

※1 署名・・・本人が手書した氏名。

※2 記名押印・・・ゴム印や印刷された氏名に印鑑を押したもの。



請願・陳情するには

議会を知りたい

学生質問帖



明善高等学校(左から)

小島 和毅さん(理数科3年)

柴田 菜々子さん(普通科3年)

山口 真琴さん(普通科3年)

議会広報委員

早田 耕一郎 議員

物価高騰や投票率の低下に伴う問題などについての質問を受けました。議員は、市の政策や市議会の役割について回答しました。

物価高騰に対して、商業分野ではどのような対策を行っていますか？

Answer 市では、新型コロナや物価高騰などの影響を受けている事業者に対し、資金繰り支援として市独自の有利な融資制度などに取り組んでいます。また、物販や飲食、サービス事業など幅広い業種で活用されている、市内4つの商工団体が発行するプレミアム商品券にも助成しています。

投票率の低下に対して、どのように取り組んでいますか？

Answer 日頃から政治に関心を持ってもらうための啓発が大切だと考えます。特に若年者の投票率が低い傾向にあります。市議会では、市議会だよりに学生質問帖や漫画のコーナーを掲載したり、表紙に市内の学生の皆さんに登場してもらうなど、若い方にも政治や選挙に興味や関心を持ってもらえるように努めています。

市民の意見は、市議会ではどのように取り扱われていますか？

Answer 市議会議員は、日頃から市民の多様な意見を聞き、一般質問で取り上げるなどしています。そもそも市議会議員は、そのために存在しています。その他には、市民の皆さんが、地域の身近な問題や市政に関することなどについて、意見や要望などを市議会に提案できる制度として、「請願」や「陳情」などがあります。こちらは少し難しいなど感じるかもしれませんが、気軽に相談してください。



請願・陳情をするには

編集後記

議会広報委員会では、全員で熱い議論を戦わせながら、より分かりやすく親しみやすい広報紙を目指しています。これからも、この「市議会だより」を通して、市民の皆様と議会のつながりが深まっていくよう工夫を重ねていきます。

議会広報委員会

今号の表紙

NPO法人円陣スペース
エンジニアリングチーム(e-SET)
アイアント工業
代表 馬場 勝大さん



e-SETは、宇宙関連産業に取り組むNPO法人です。筑後地域の中小企業を中心に構成され、各社の得意分野を持ち寄り宇宙ビジネスに挑戦しています。e-SETのメンバーであるアイアント工業は、非常に精密な加工が求められる人工衛星の部品を製造しています。

i

次の定例会は、6月
開催予定です。

久留米市議会



久留米市議会
ホームページ

市議会の本会議は、どなたでも傍聴できます。市役所20階の傍聴席までお越しください。本会議が始まる時刻は、午前10時の予定です。

インターネット中継もどうぞ

本会議は、久留米市議会ホームページの「インターネット議会中継」でもご覧いただけます。



議会中継

「マチイロ」を
ご利用ください



行政情報アプリ「マチイロ」を使えば、スマートフォンやタブレット端末で「市議会だより」を読むことができます。ぜひ、ダウンロードしてご利用ください。



市議会だよりを
スマホアプリで

市議会公式フェイスブック



定例会の日程や市議会の活動状況などの情報を、分かりやすくタイムリーにお届けします。



市議会公式
フェイスブックページ

市議会だよりを読んでのご意見、ご感想をお寄せください

発行: 久留米市議会 編集: 議会広報委員会 / 久留米市城南町15番地3

TEL.0942(30)9305 / FAX.0942(30)9720 / E-mail gikai@city.kurume.lg.jp

「市議会だよりくるめ」は、環境に配慮した再生紙を利用しています。 ご意見等はこちらからも投稿できます▶

